

令和8年度 瀬田南小学校 学校運営協議会 議事録

【学校運営協議会委員】

江住 元博	会長	瀬田南区自治連合会 会長
山岡 正幸	副会長	瀬田南区青少年育成学区民会議 会長
横田 茂	保護学級指導員 活動推進員	瀬田南地区主任児童委員
青木 孝子	委員	瀬田南地区民生委員児童委員協議会 会長
下村 力	委員	瀬田南区社会福祉協議会会長
古山 良茂	委員	瀬田南老人クラブ連合会 会長
加藤 三欣	委員	瀬田南区少年輔導委員会 会長
清水 ひとみ	委員	瀬田南小学校 学校協力者
田村 憲夫	委員	瀬田南学区子ども安全リーダー幹事
増淵 昭子	委員	瀬田南学区更生保護女性会 副会長
谷本 みちの	委員	瀬田地区民生委員児童委員協議会 会長
山本 幸子	委員	瀬田南児童クラブ代表支援員
今井 美枝	委員	瀬田南小学校 保護者グループ
沖本 光史	地域校園	瀬田中学校 校長
緒方 純子	地域校園	瀬田南幼稚園 園長
北井 恭子	地域校園	瀬田南保育園 園長

【学校職員・事務局】

中野 啓一	校長
宇野 雅文	教頭
高野 麻美	教務主任
角 裕	生徒指導主任・地域連携コーディネーター
清水 寛子	子ども支援コーディネーター
川口 夏生	事務職員

	第1回	第2回	第3回	第4回
日時	令和8年5月22日(金)			
場所	瀬田南小学校 図書室			
出席者数	20人			
主な議題・決定事項等	<p>1. 会長あいさつ</p> <p>2. 校長あいさつ</p> <p>3. 委員委嘱、自己紹介</p> <p>4. 今年度学校経営管理計画について、校長より説明                      ・これまで開校の精神としてきた「自我作古」をこんねんどより、校訓に据える                      ・学校教育目標に位置付けている「やかた」の子について</p> <p>5. 新年度スタートの様子(校長)                      学校体制全般について                      ・児童の家庭背景について                      ・不登校の状況、個別の指導、支援を要する児童の状況</p> <p>・昨年度運営協議会の集約からみえる課題                      子どもの様子について(生徒指導主任)                      ・本校の問題行動事案、いじめ事案の実際                      ・生徒指導の取組について                      「南っ子 心をみがく3つの約束」、生活目標の取組</p> <p>6. 地域学校協働活動の取組について(生徒指導主任角)</p> <p>・通学路合同点検、地域での声掛け事案について報告</p> <p>7. 年間行事計画について                      ・音楽会、運動会、6年生を送る会、学習参観等の学校行事については、運営協議会委員、学校評価委員の方にも案内し、参加を呼びかけていく。</p> <p>4. 学校経営管理計画について                      学校経営管理計画については、学校が示した方針に沿って、進めていくよう委員より承認を得た。</p> <p>5. 新年度スタートの様子について                      学校の様子を説明いただいたが、不登校の状況、いじめの実際など学校から詳しく説明していただき、よくわかった。</p> <p>6. 地域学校協働活動について                      ・昨年は、九九教室など新しいことに取り組み、成果があった。九九については、やり切ったことが大事。                      ・朝の校門付近の混雑については、檜山の門を開放したことで、解消できた。                      ・河川管理道路については、地元議員様の協力もあり、整備ができた。                      ・朝ごはんの取組については、持ち帰り等もという意見もあるが、食の安全という点で難しい。                      ・フリースクールに通所している児童については、教育相談担当が窓口になり、各施設と連携を取っている。                      ・南っ子応援隊については、老朽連、更生保護女性会、民児協などが協力して取り組んでいる。                      ・社協の福祉委員についても、人材として声掛けをしていきたい。社協と連携できるとよい。                      ・読書活動推進については、地域も協力したい。                      ・ペルマーク活動については、保護者チームとして取り組んでいく方向で準備を進めている。(支所、郵便局にも回収ボックスを設置)                      ・昼休みの見守り活動、人材が不足している。保護者にも周知、啓発していきたい。                      ・紙媒体ではひと手間かかるので、テトルやフォームで参加申し込みできると、ハードルは下がるのではないかと。                      7. 年間行事計画について                      ・園と小学校では「かけはしプログラム」等を通じて、小学校との連携を深めている。                      ・幼稚園も保護者会となった。役員を廃止したことで、加入が増えた。                      ・保育園は、親が連れてこないと言えない。家庭があるのでのこと。                      ・児童クラブでは、宿題をしてから遊ぶという習慣をつけていきたい。クラブでも「SNS」「LINE」のトラブルがある。</p>			